

2019年度 第3回静岡地区共同宣教司牧委員会 議事録

1 日時 2020年2月16日(日)14:00~16:30

2 場所 八幡教会

3 出席者 別紙

4 議題

(1) 2019年度決算予想、2020年度予算(案)について

別紙にて説明。次の事項について承認

ア 各部門へ来年度の予算申請を依頼したが、各部門とも具体的な提案をする段階ではなく、前年度を踏襲した金額の申請であった。したがって、現時点での各部門の予算は0円とする。今後、各部門で詳細に検討し、予算手当が必要であれば次回5月、10月の委員会へ提案し、その時点で承認を得ることとする。具体的な提案がある場合は役員会前までに会長(望月さん)へ報告する。

イ 外国籍信徒の特殊事情に使用されるソリダリティとHP維持管理費以外は約25%カットとする。

ウ 連合リーダー会(主に子供たちのキャンプ費用)については270千円から200千円の70千円の大幅カットとなるが、交通手段の見直し、行先の変更、参加者の負担増、小教区毎の負担金の増加などを検討する。

エ 負担金納入についてのお願い(別紙)3月末日厳守でお願いする。

<各意見>

- ・リーダー会としては必要最低限の経費でやっている。
- ・信者の方から善意ある寄付を募ったらどうか。
- ・家庭だけでは作ることのできない宗教教育的に貴重な体験としてキャンプを提供している。参加費用の値上げが参加をやめるということに直結するのか?その価値を親御さんにもご理解いただけるのではないか?
- ・参加費のうち半額負担は理解しやすいが、8割負担は多いのではないのか?
- ・子供が多く参加している小教区の負担を追加したらどうか。
- ・大人リーダーの参加者が多すぎではないか?
→リーダー養成の側面もあるため、多すぎることはないと考えている。

(2) 横浜教区共同宣教司牧評議会信徒評議員への推薦について

千代田教会 榎木陽子氏を信徒評議員への候補として推薦することで承認

(3) 聖なる3日間の合同典礼について

司祭提案を受け検討した結果、次の事項について承認。

ア 今年の聖なる3日間を合同典礼とする。

イ 合同典礼実施場所:静岡教会、草薙教会の2か所とする。

ウ 合同典礼委員会を設置し詳細を検討する。メンバーは祈る部門各小教区の典礼委員で構成する。

<司祭提案>

- ・ご高齢(85歳)の岡村神父へ聖なる3日間の夜の典礼を任せるのは体力的に厳しいのではないか?昨

年は千代田教会の典礼を3日間お願いしたが、かなり大変そうな印象を受けた。(千代田教会信徒の印象)

- ・聖なる3日間は御降誕と並んで典礼の頂点と考える。その喜びのミサを掛け持ちでやるのはいかなものか？また、小さな教会では参加者が少人数になることも想定される。
- ・交わりとしての教会を目指す上でも聖なる3日間を合同典礼とすることで検討できないか？
- ・復活の主日のミサは5教会で実施する。

<各意見>

- ・昨年開催された地区懇談会で長野、山梨の小教区の再編成(高齢化・信徒数の減少)の事例が紹介された。将来を考えると私たちが今から考えていかなければならない問題。かつての豊かな時代にパリミッション会の司祭が努力して5つの教会を作ってくれたのはとてもありがたいことだが、現在、市内に5つある教会の編成は考えていかなければならない。この問題は教区だけが考える問題ではなく、地区と小教区で考えて教区に提案していく問題。これらを考えると、合同典礼を考えていくのが、共同宣教司牧の使命であり挑戦ではないか？
- ・梅村司教様が言うには、静清地区は地理的に恵まれている。将来を考えると残念ではあるが、小教区を減らしていくことを考える時期にあるのかもしれない。
- ・横浜教区に司祭が何人いて、ほんとに足りないのか？来てくれる司祭はいないのか？
→9つの教会に対して司祭5人の地区もある。大祝日のミサを他の教会から司祭に来てもらって良かったとなるか？毎年それをやるのか？他の教会から別の司祭に来てもらうことは現実的か？

(4) 各部門報告

ア 祈る部門

- ・集会祭儀の研修会報告(別紙)
- ・次回の部門集まりでの2020年度の集会祭儀のローテーションを組む。

イ 伝える部門

- ・シグニスへの研修会は1名参加する予定。
- ・2020年度は清水教会 村岡氏が伝える部門代表になる。
- ・「分かりやすい聖体とミサ」の本を使って求道者への勉強会をしている。

<連合リーダー会>

- ・2020年8月18日-20日でキャンプを予定している。詳細については今後検討する。

<HP関係>

- ・問い合わせ用のメールアドレスを設定して運用するようにした。
- ・地区懇談会の概要と写真を掲載。
- ・1月に実施された子供たちの合同凧揚げ大会の記事を掲載。
- ・HP維持管理会社との契約は5年あり、今年3年目。それ以降についてはもっと安く維持管理できる会社や方法を検討する必要がある。

ウ 証しする部門

- ・3月下旬に20年度の活動方針を話し合う予定。
- ・昨年研修会を開催したが、他地区への周知方法も検討する必要がある。HPへ掲載するなど。
→静岡県司祭の集まりがあるので、他地区の共同宣教司牧委員会との横のつながりについて提案をしてみる。またAOSについては横浜教区に予算がある。清水港でのAOS支援に必要なものがある場合そちらへ予算請求することも必要ではないか。

<コムニタス>

・インターナショナルフェスタは今後も継続していく。2020年度で第27回目になると思われる。準備に時間がかかるので、簡略化できるところは簡略化をしていく。

・外国人問題の多様化が見られる。様々なケースの問題が増加している。問題を抱えている外国人の相談にのることができるように勉強会（生活保護や労働関係について）をしていく。

エ 各小教区から

<静岡>

・聖母幼稚園舎の建て替え計画進行中。駿府城内に位置しているため、建物を建てる際には地主負担で発掘調査をしなければならない。当初の計画通りに進むか不透明な状況。旧司祭館については老朽化が激しいため、現在、取り壊しに向け解体費用見積など準備中。

・3月14日(土)、15日(日)浦野神父さま(東京教区事務局長)をお招きし黙想会を開催。

<千代田>

・千代田教会50周年を迎えるため、12月6日11:00~梅村司教司式でミサを予定している。

・建物老朽化のためペンキ塗り直し壁の修理を実施。費用については信者からの寄付で賄っている。<八幡>

・久能街道(教会前の道)付け替え工事が計画されている。新道は教会裏手を通ることになる。<清水>

・聖堂問題は教区預かりの状態。2月23日信徒大会には間に合わないと思われる。

・3月8日(日)谷脇慎太郎神父さまをお招きし黙想会を開催。

<草薙>

・ベトナム若者が多い。東は熱海、西は六合からきている。ベトナム人の結婚式も2回執り行った。評議委員会(教会委員会)にもベトナム国籍の方に参加してもらっている。

・3月8日(日)ソン神父さまをお招きし黙想会とベトナム語のミサを開催。

(5) 教会ニュース巻頭言当番表

別紙当番表にて承認。

(6) 上杉神学生 助祭叙階式などについて

(7) 2020年4月26日(日)山手教会で助祭叙階式が行われる。時間については後日連絡。

(8) 順調にいけば、2021年に司祭叙階となる。静清地区で司祭叙階式の準備を行うため、叙階式実行委員会を静清地区に設置する。メンバーは各小教区・各部門1名、上杉氏は静岡教会出身なので静岡教会信徒も中心メンバーとして若干名入ってもらう予定。5月の委員会時には発足させたい。

5 次回開催予定

役員会 2020年5月13日(水)19:00~静岡教会

委員会 2020年5月17日(日)14:00~清水教会

※この予定に変更がなければ、改めて開催通知は行いませんので各自で予定してください。

以上